

2017年4月12日  
三井不動産株式会社  
プロロジス

## 三井不動産とプロロジス、 「MFLP プロロジスパーク川越」の共同開発事業を決定

三井不動産株式会社（本社：東京都中央区）とプロロジス（日本本社：東京都千代田区）は、埼玉県川越市南台における、大型物流施設「MFLP プロロジスパーク川越」の共同開発事業の推進が決定したことをお知らせいたします。

当施設は、最寄りの関越自動車道「川越 IC」から車で約7分の立地で、東名・中央・関越・東北道といった主要高速道路へのアクセスも良く、都心と全国各方面を効率的に結ぶ輸送ポテンシャルの非常に高い場所に位置します。さらに、西武新宿線「南大塚」駅からも徒歩6分と至近で、従業員の通勤利便性に優れ、庫内作業の人材募集にも有利な立地です。

約60,000㎡の敷地に、ダブルランプウェイを備える地上4階建て合計延床面積約130,000㎡のマルチテナント型の物流施設として計画し、圏央道以南の関越自動車道沿いにおいて最大の物流施設となります。1階西側は、両面バースとする予定であり、敷地内ではトラック動線と乗用車の動線を分け、高い作業効率と安全性を確保します。また、全館LED照明導入や非常用発電設備をはじめとする環境やBCPに配慮した施設スペックに加え、カフェテリアやパウダーコーナーなど、従業員の快適さを追求した環境整備も行ってまいります。着工は本年8月、竣工は2018年10月を予定しております。

国内不動産業界最大手の三井不動産と物流不動産のリーディング・グローバル企業であるプロロジスが、共同事業を推進することにより、双方のノウハウを結集することで、さらに先進的で質の高い物流施設を開発いたします。



「MFLP プロロジスパーク川越」完成イメージ

【物件概要】

施設名称	MFLP プロロジスパーク川越
所在地	埼玉県川越市南台
建物規模	地上4階建て
計画敷地面積	58,749.53 m <sup>2</sup> (17,771.73 坪)
計画延床面積	130,797.85 m <sup>2</sup> (39,566.34 坪)
スケジュール (予定)	2017年8月 着工 2018年10月 竣工

【位置図】

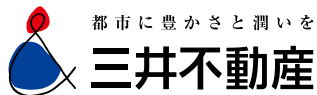




●プロロジスについて ([www.prologis.co.jp](http://www.prologis.co.jp))

プロロジス（日本本社：東京都千代田区丸の内、代表取締役社長：山田 御酒、世界本社：米カリフォルニア州サンフランシスコ、 NYSE：PLD）は、物流不動産のリーディング・グローバル企業として世界 20 カ国で事業を展開しています。2016 年 12 月末時点で、計 6,290 万㎡以上の物流施設を所有・運営・開発し、3PL、物流、小売、e コマースなど、約 5,200 社の顧客に最新鋭の物流施設をご利用いただいています。

日本国内ではこれまでに 84 棟、総延床面積約 554 万㎡の物流施設を新規開発し（開発中を含む）、現在 47 棟、総延床面積として約 352 万㎡の物流施設を運営および開発中です。また、約 21 万㎡の物流施設の開発用地を所有しています。今後もお客様へのよりよいサービスと、環境に配慮したサステイナブルな、物流の効率化に貢献するための最新の物流施設を世界各地で展開してまいります。



●三井不動産株式会社について ([www.mitsui-fudosan.co.jp](http://www.mitsui-fudosan.co.jp))

三井不動産株式会社は、日本で初めての超高層ビルとなる「霞が関ビルディング」や「日本橋三井タワー」等のオフィスビル事業、リージョナル型ショッピングセンター「ららぽーと」、アウトレットモール「三井アウトレットパーク」などの商業施設事業、「パークホームズ」シリーズなどの住宅分譲事業などを展開しています。近年では、「東京ミッドタウン」や「柏の葉キャンパスシティ」などの大型複合再開発を手掛け、街づくりを推進しています。

また、2012 年 4 月に商業施設本部内に物流施設事業部（現 ロジスティクス本部）を立ち上げ、本格的に物流施設開発に取り組んでおります。2015 年 3 月には、「ともに、つなぐ。ともに、うみだす。」の事業ステートメントを策定しました。入居企業の皆さまの課題解決パートナーとして、多種多様なヒト・モノ・コトをつなげることで、既存の枠にとらわれない価値づくりに挑戦してまいります。